

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 : グループホーム 響き
 作成日 : 平成 26 年 1 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケアプランの作成、見直しがまだ十分に出来ていない。	定期的なプランの見直しが出来てサービスに反映される。	CM研修会に参加しよりよいプラン作成のコツやサービスへの展開のさせ方などを習得する。	3ヶ月
2	4	運営推進会議の参加者は、いつも決まったメンバーで行われている。	もう少し輪を広げ入居者家族の代表者だけでなく他の家族も気軽に参加できるようにする。	運営推進会議録を家族へ配布する際に気軽に会議に参加してもらえるような声かけをしていく。	3ヶ月
3	35	防災面への対応をもっと強化していく。	防火防災面では、地区の消防団とのつながりを持つ。	稚気の消防団の方の運営推進会議への参加を促し、馴染みの関係を構築する。	6ヶ月
4	45	レベルの低下した入居者に対しては、立位困難な為シャワー浴で対応している。	冬場は、脱衣所の暖房器具を再検討し心地よくシャワー浴が出来るようにする。また、本人の負担軽減のためシャワーキャリーを検討する。	浴槽の改装は難しいので、脱衣所の暖房設備を充実させ、シャワーキャリーを購入するよう検討していく。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。